

海外鉄道事業における開発コンサルティング

テーマ	開発コンサルティング
事業分野	鉄道事業

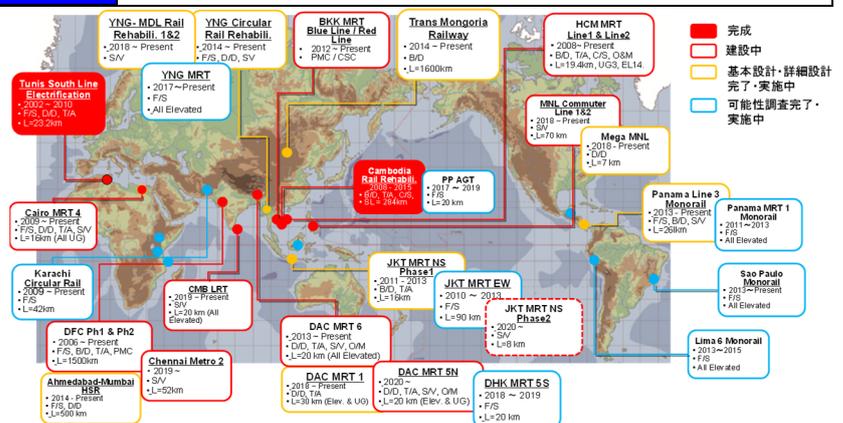
海外鉄道事業へのサービス展開

発展途上国では、モータリゼーションの進行に伴う交通渋滞や大気汚染の深刻化に伴う CO₂ の排出削減が大きな課題になっています。我が国は、これらの課題解決のため、インフラシステム海外展開戦略のもと、都市間高速鉄道、都市内鉄道、貨物鉄道など鉄道整備支援を積極的に実施しています。日本工営は、海外の鉄道事業における総合的なコンサルティングサービスを通じて社会貢献を行っています。

多様なプロジェクトへの参入

日本工営は、2001年に鉄道技術部を創設し、徐々に海外鉄道事業のコンサルティング事業を拡大し、2020年には60億円を超える売上を上げるまでに成長しています。

SDGsの方向性とも合致した海外の鉄道建設市場は、今後も拡大が見込まれており、日本工営も右図に示すプロジェクトで途上国の鉄道整備に取り組んでいます。

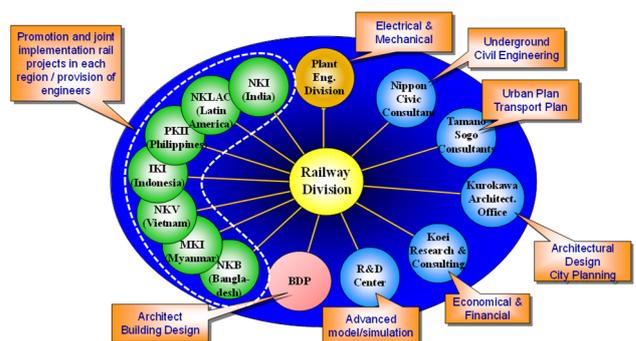


日本工営が関与している主な鉄道プロジェクト(2020年現在)

提供サービスと果たす役割

海外の鉄道事業は実施期間が長く、計画段階から完成まで最低20年かかるとも言われ、専門分野が多岐にわたり、土木技術だけでなく、電気・通信技術など多くの専門家を必要とします。

これらの鉄道事業に対して、日本工営として国内外のコンサルティングで長年培ってきた総合力や経験に加え、地下トンネルに強い日本シビックコンサルタント、まちづくりに強い玉野総合コンサルタント、公共建築物の設計実績が豊富なBDP社、NIPPON KOEI INDIA や中南米工営などの現地法人とグループシナジーを発揮して、今後も事業拡大を図っていきます。



海外鉄道事業に関連する事業部・グループ企業

日本工営株式会社

お問合せ

内容に関するご質問は、以下のページからお問い合わせ下さい。

URL <http://www.n-koei.co.jp/contact/>

都市間鉄道事業の例：ベトナム国ホーチミン市都市鉄道1号線建設事業

ホーチミン市では6路線の建設が計画されていますが、当社は第1号線のコンサルティング業務を実施しています。ホーチミン市中心部のBen Thanh（ベントイン）から観光名所でもあるオペラハウスを経て市北東部に位置するSuoi Tien（スオイティエン）に伸びる総延長19.7km（地下鉄および高架鉄道）の路線で、現在は建設工事段階にあり、当社は施工監理を行っています。



ベトナム国ホーチミン市都市鉄道1号線位置図



ベントイン駅の完成イメージ図



建設中のオペラハウス駅



シールドトンネル施工状況

長距離鉄道事業の例：インド国貨物専用鉄道事業

インド貨物専用鉄道建設計画は総延長2,800kmにわたる巨大プロジェクトです。当社は東西回廊全区間の事業化可能性調査を実施し、現在、首都デリーと重要な国際港を持つインド最大の都市ムンバイを結ぶ約1,350kmの西回廊の施工監理を行っており、2021年1月に一部区間(Rewari~Dadri)が開業しました。



部分開業式の状況



鋼橋の架橋

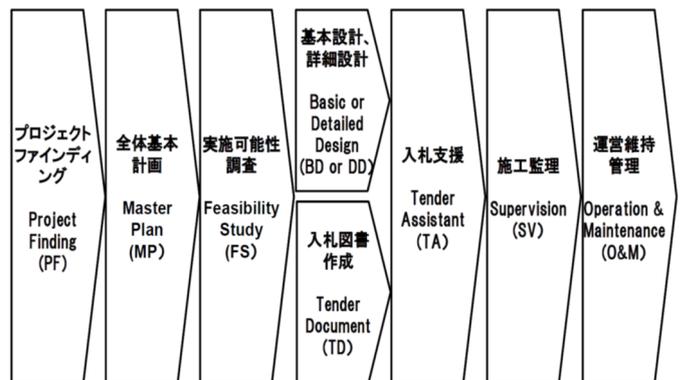


インド国貨物専用鉄道位置図

事業の流れ

海外の開発コンサルタントの業務フローを右図に示します。鉄道事業の場合は期間が長く20年以上に及ぶことも少なくありません。

日本工営は海外の鉄道プロジェクトの掘から建設後の運営維持管理まで、長期間にわたって事業をサポートすることができます。また、今後、三次元モデル設計やプロジェクトマネジメントシステムの活用することで生産性の向上を図るとともに、デジタルツインによるトータルマネジメントを実践していきます。



海外開発コンサルタントサービスの流れ